

## 東北の公共交通の現状分析を行うための指標について

### 1．東北地方交通審議会（平成21年3月）での主な指摘事項

量的指標にこだわらず、満足度やリピート率といった質的指標が重要。  
利用率などについて、地域ごとの比較が必要。  
指標に対する施策の体系、有効性がわかるようにする必要。  
地方の公共交通利用者の年齢層、運転免許の有無などや、それが過疎化にどう結びついているかの分析が必要。

### 2．進め方

平成21年3月24日東北地方交通審議会資料による項目（目標）ごとの目標について、当該審議会における指摘事項を踏まえつつ、現状分析に相応しいより良い指標の有無を検討し、本部会后、それぞれの指標についての現状値を調査する。

なお、指標の選定に当たっては、可能な限り、17年時点での数値を提示できるものであることが望ましい。

### 3．指標の視点（案）

生活の質の観点

公共交通を手段とする生活の質の程度

住民の満足度

公共交通に対する住民の満足度

地域ごとの比較

東北以外の地域(全国)との比較や各県の比較、都市部と過疎部の比較、

年齢層別の比較

比率による提示

絶対数ではなく、人口等を分母とした比で表す。